

『森の色 ビンゴゲーム』で 秋を楽しもう

札幌市立伏見小学校 星山 美千代



秋が近づくと、子どもたちは拾ってきた落ち葉などを教室に持ち込んでくるようになります。窓から見える野山の色も、夏の緑から少しずつ赤や黄色に変化してきます。

この時期をねらい、秋の自然に親しむきっかけとなる活動として『森の色 ビンゴゲーム』を構成しました。

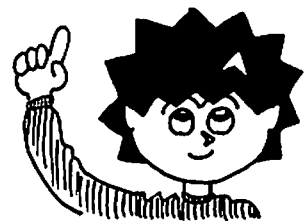
ルールは簡単。普通のビンゴゲームの要領で、縦・横・斜め、いずれかが揃えば「ビンゴ」です。

マスの色は、あらかじめ現地へ下見に行っておき、子どもが見つけれそうな色を決めておきましょう。

子どもと一緒に行って「どんな色が見つけれそうかなあ？」と考えてから、ゲームをスタートするのもよいでしょう。

赤・黄・緑…色を求めながら、ダイナミックな活動が展開できますね。

あ か	き い ろ	だい だい
ちゃ いろ	おうど いろ	きみ どり
こげ ちゃいろ	むら さき	み どり



『証拠』として見つけた『色』を持ち帰り、教室で交流する活動を構成すると、同じ色でも多種多様なモノがあることや、逆に同じモノでも微妙な色の違いに気付いたりするものでしょう。

色以外に、虫や風の音などをビンゴのマスに入れても楽しめますね！